



二気二力

《 校 訓 》 気概 気品 協力 体力

《学校教育目標》

地域を誇りにもち、心豊かに、たくましく、
自分で考え行動する生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和 6 年度学校通信

第 2 号

令和 6 年 5 月 2 4 日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

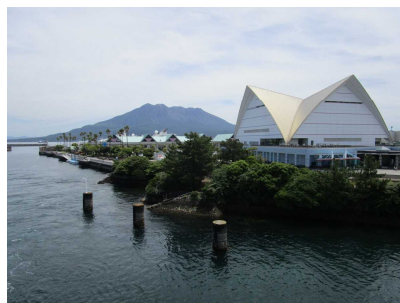
3 年生 修学旅行（南九州方面）

3 年生は 5 月 16 日（木）～ 18 日（土）に、鹿児島・熊本方面に修学旅行に出かけてきました。保護者の皆様には、送迎でお世話になりました。3 日間晴天に恵まれ、仲間との交流や現地の人・地理・文化との触れ合いを楽しみ、思い出深い旅となりました。

初日（鹿児島県）は、知覧特攻平和会館横の観音堂で、実行委員を中心に準備してきた平和集会（群読、オブジェ献納）を行い、不戦の誓いを立てました。その後、陸上自衛隊元幕僚の川床剛士氏に「命の尊さと親子の絆～特攻隊員の心を学ぶ～」と題して講話をしていただきました。大東亜戦争（日本軍の考え）から沖縄特攻作戦に至るまでの経緯、さらには知覧（陸軍）や鹿屋（海軍）の飛行場から飛び立った若者とその親の書簡など、史実と心情の両面から命の尊厳や平和の大切さについて語っていただきました。そして、最後に「一日一日の積み重ねが未来につながる。その時々を一生懸命に生きて欲しい。」と、締めくくられました。講話後は、出撃直前の隊員が書いた日の丸の寄せ書きなどを館内で見学したり、周辺の戦跡を観光ガイドさんに案内していただいたりしました。

その後、夕方には宿泊先の指宿市に移動し、砂むしで旅の疲れを癒やしました。

2 日目（鹿児島県）は、砂州でつながった知林ヶ島を車窓から眺めながら一路、エイを模した外観のいお（魚）ワールドかごしま水族館を目指しました。水族館では、ユウユウ（愛称）と泳ぐジンベエザメやイルカショーを楽しんだり、土産物を買ったりしました。

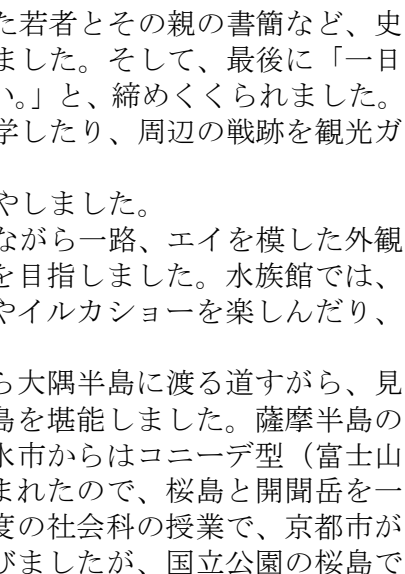


拝観後、桜島フェリーで薩摩半島から大隅半島に渡る道すがら、見る角度によって様々な表情を見せる桜島を堪能しました。薩摩半島の鹿児島市からは山脈型、大隅半島の垂水市からはコニーデ型（富士山型）に見えました。さらに、晴天に恵まれたので、桜島と開聞岳を一望することもできました。また、昨年度の社会科の授業で、京都市が景観の保全に取り組んでいることを学びましたが、国立公園の桜島で

も、景観に配慮した茶色い外壁のコンビニエンスストアを見かけました。

その後、民泊を行う垂水市の入村式で、副市長さんから養殖生産量日本一のカンパチ、輸出高日本一のブリの紹介がありました。式後に学年を 13 班に分けると、さすがに心細そうな面持ちになりました。それでも、受け入れ先の皆さんが笑顔で声をかけてくださり、漁業体験やお菓子作りを行ったり、夕食を郷土料理でもてなしていただいたりするうちに緊張がほぐれ、離村式では家族のように打ち解けていました。

3 日目（熊本県）は、球磨川下りを、現代風にラフティングで楽しみました。川沿いの JR 肥薩線は 2020 年の水害で鉄橋が落下し、橋桁には流木がのったままで、復旧の目処が立っていません。それでも、スタッフ（世界選手権出場者を含む）は、おもてなしの精神を失わず、復旧・復興を目指してきました。乗船前の安全指導の段階から、スタッフが巧みなトークで盛り上げてくださったおかげで、3 年生は歓声を上げながら T グリップで漕ぎ、崖から川に飛び込み、アクティブな非日常を満喫することができました。飛び込む前は恐怖感が先走ったものの、いざ飛び込むと日常からの解放・解脱を感じることができたようです。



2年生 立志広島研修

2年生は4月30日(火)～5月1日(水)に、立志広島研修に出かけてきました。保護者の皆様には、送迎でお世話になりました。一行は、時折雨の降るあいにくの天気ではありましたが、滞りなく旅程を終えることができました。一連の活動の中で、実行委員をはじめとした友だちの頑張りやよさに気づくこともできました。

初日は、大和ミュージアム(呉市海事科学歴史館)を見学後、広島市に入りました。八幡照子氏の被爆体験講話を皮切りに、ピースボランティアによる広島平和記念公園内の碑巡り、原爆の子の像の前での平和集会(千羽鶴献納、群読)、広島平和記念資料館内の見学など、平和学習を精力的に行いました。ゴールデンウィークの谷間であったため、修学旅行生の姿はまばらで、むしろ外国人旅行客の多さが目立ちました。群読中は、観光客が静かに聞き入ってくださり、拍手までしていただきました。被爆国の中学生、平和を願う世界の人々、さらには原爆を投下した国の人々までもが広島市を訪れ、被爆の実相を見聞し、言語は違えど、核兵器廃絶や尊い命を奪う紛争の終結を願う気持ちの面を通じ合うことができました。



フェリーで宮島に渡って宿泊後、2日目の午前は、大鳥居が美しくリニューアルされた世界文化遺産の厳島神社に参拝しました。班別自主研修では、もみじ饅頭やキーホルダーやお守りなど、土産物の品定めに夢中になっていました。その後、昼に広島市に戻ってからは、Wood Egg お好み焼館で広島風お好み焼きを体験したり、館内のおこのミュージアムで歴史を学んだりしました。生徒たちはお好み焼きをヘラで上手に返し、好みのソースをかけて熱々のお好み焼きを美味しくいただきました。

1年生 牛窓研修(カリヨンハウスの巻)

1年生は5月9日(木)に、牛窓研修センターカリヨンハウスを主会場に研修を行いました。保護者の皆様には、綾浦コミュニティまで送迎していただき、ありがとうございました。乗船した前島フェリー(からこと丸)のラッピングは、一昨年度本校生徒が図案化したものです。この日は晴天で、干潮も重なったため、美しいヴィーナスロードを眺めることもできました。

晴天の下、午前は長距離のウォークラリーに挑戦しましたが、誰一人離脱することなく、ゴールのカリヨンハウスに到着することができ、感動しました。道中、大阪城築城残石群で説明を受け、巨大な岩を切り出し運んだ400年前の技術に驚かされました。



午後はしっかりと説明を聞き、イカダ作りに挑戦しました。自分たちで組み立てたイカダを夢中で漕いだ結果、翌日は筋肉痛になりましたが、それも楽しい思い出です。また、野生のスナメリを見ることができたことで、環境保全の意識も高まりました。

以上、牛窓研修を通して、3小学校から集まった仲間と親睦を深めるとともに、3学年を貫く牛窓学習をスタートさせることができました。7月4日(木)には、ヨットハーバーの巻を企画しています。

岡山県では、目指す子どもの姿を「自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の意志で行動できる」に設定し、その姿に近づくために課題解決型学習PBL(Project Based Learning)を推奨しています。この方針に従い、本校では総合的な学習の時間を中心に地域の学習素材を生かした、3学年を貫く探究型のプロジェクトに取り組んでいます。旅行・集団宿泊的行事においても、港町として栄えた歴史を踏まえ、中1で前島、中2で宮島、中3で桜島行きのフェリーに乗船したり、体験活動にレジャー、郷土料理、民泊を盛り込んだりするなど、工夫を凝らしています。旅行・集団宿泊的行事では観光客目線で訪れていたものが、中3で地域創生案を考えるときには、観光客をもてなす目線でアイデアを出し合います。引き続き、学識経験者にご助言をいただきながら、持続可能な開発のための教育ESD(Education for Sustainable Development)を推進し、中3になったときに、3年間の集大成として町の未来について考えるための材料を提供していきます。

今後とも、地域の課題に最前線で取り組む人々や、牛窓愛溢れる芸術家との交流を通して、目指す子どもの姿に近づけるよう努めて参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。